

6月定例会

平成24年6月14日(木)午後6:30より、ソリッドスクエア1F第3会議室にて、会員14名、オブザーバー1名、見学者1名、学生4名の参加を得て開催した。

国士舘大学 21世紀アジア学部 トーホアン客員教授を招き、「ベトナム事情」をテーマに、講演はすすめられた。

ハノイ・ホーチミンの動画説明の後、ベトナムの経済発展・産業変化・中小企業革新・対日関係などについて述べられた。

今年度、川崎異業種研究会ではベトナムへの視察会を予定しており、事前知識を深める好機となった。

その後、場所を移して懇親会を行い、終始和やかな雰囲気ですべて終了した。



6月分科会

平成24年6月6日(水)午後6:30~8:30、中原市民館第1会議室にて、会員10名、学生3名の参加を得て開催した。

「川崎異業種研究会新入会員による企業紹介」をテーマに、新入会の株式会社船井財産コンサルタンツ川崎中川与治代表取締役・東京 JAPAN 税理士法人 三澤郁夫所長代表社員・アルテ総合法律事務所 川村拓矢

顧問弁護士から説明がされた。

企業名や業種だけでは具体的内容がわかりにくいので、新入会員の専門分野や日常業務をはっきり理解する機会となった。

直ちに業務連携とはならないかもしれないが、会員相互の理解が進むことは、川崎異業種研究会の将来的発展に効果があると実感した。



7月定例会

平成24年7月12日(木)午後6:00より、中華料理天龍本館にて、会員24名、オブザーバー1名の参加を得て開催した。

今回は、川異研25周年を記念して納涼会とし、紀中会長の挨拶、原副会長の乾杯発声後、本年度新入会員の自己紹介と近況報告、本年10月開催の国外(ベトナム)視察会などについて意見交換がなされ、終始和やかに親睦を深め、小林副会長の中締めで、盛会裏のうち散会となった。



7月分科会

平成24年7月4日(水)午後6:30~8:30、中原市民館第1会議室にて、会員12名、学生6名の参加を得て開催した。

和光大学の学生(小林准教授担当の授業の一つ)と川崎市民団体の持続可能な地域交通を考える会(SLTc)が事業連携をしている「自転車タクシーの運行実験」について報告がされた。

SLTcの野口氏が事業概要等を説明した後、和光大学の学生がプレゼンテーションをした。

川異研からは「過去のアンケートと事業の一部にずれがあるため、再度アンケートを実施してはどうか」、「他企業とのサービスの違いをはっきりさせたほうがよい」、「事業や運転手の名称を変えるべきではないか」等の具体的な意見や提案があった。

大学2年生の磯田氏は、「発表は3年生でしたが、社会人を前にしたプレゼンテーションは初めてで緊張ととも

に、記録していても厳しさがひしひしと伝わってきた。経験を積み重ねて力をつけたい。」と感想を述べた。

その他、「10月から実施する運行実験をより充実したものにしたい。」との意気込みもあった。



加入のお問い合わせは

事務局:麻生支所 TEL 044-952-1191